

<p>伝道弟子伝道ミッションが明らかでこそ弟子が動くことができます(使徒 1:14)</p> <p>*序論-葛藤</p> <p>▲現場の中で最も重要な現場は使徒 1:14 節の現場だ。どんな伝道ミッションを持っていなければならないかという以前に、最も近くある葛藤をどのようにするのか。葛藤をどのように処理するのかによって、本当に伝道弟子か、違うか、その人のうつわで、信仰の色で、祈りだ。</p> <p>(1)だれがこの葛藤を与えたのか-神様</p> <p>①レムナント 7人-更新ができないから神様が祝福をくださると葛藤をくださるのだ。②初代教会③30年伝道をしながら見た。</p> <p>▲それでこの部分を最高の祝福として味わうのが一番最初にあるミッションだ。</p> <p>(2)更新-なぜそうだったのだろうか。これをはやく感づいた人々が大きい答えを受けた。</p> <p>(3)計画-私たちが正確な神様の前に立たなければならないで、計画を見なければならぬ。伝道弟子が何をしなければならぬのか。</p> <p>1.福音を知っていること→福音体験</p> <p>▲福音を知って信じれば救われる。しかし伝道弟子は福音体験をしなければならぬ。「ただ福音」を死ぬほど苦労の中で体験するのが現場伝道だ。</p> <p>(1)マタイ 16:13-20、ペテロが聖霊で告白をしたが、実際に福音体験をできなかった。マタイ 17:1-9、17:24-27</p> <p>(2)マタイ 26:41-27:66、万王の王キリストがすべての呪いと侮辱をみな受けて十字架に死ぬのを見た。</p> <p>(3)マタイ 28:16-20、イエスが復活して現れた証証を見るようになった。この時から弟子たちが悟るようになって、ものすごいメッセージが出てくる。マルコ 16:15-20、ルカ 24:13-31、ヨハネ 21:15-18。</p> <p>2.ミッション受ける体験</p> <p>(1)使徒 1:1、この答えを受けた初代教会の伝道弟子に最も重要な単語が使徒 1:1、イエスはキリストだ!</p> <p>(2)使徒 1:3、神の国-直接ミッションを与えられた。</p> <p>(3)使徒 1:8、聖霊の満たし-世界を生かす聖霊の満たし</p> <p>(4)使徒 1:11、主の御使いが神様のみことばを悟るようになる。</p> <p>(5)使徒 1:14、この契約を握って集まった。完全なミッションを握ったのだ。</p> <p>▲私たちの主と副が変わる日、神様はおどろくことに私たちにミッションをくださる。</p> <p>3.ミッションが成される体験</p> <p>(1)使徒 2:1-3 (最高の答え)-五旬節日の日になって..だれも防止できない最高の答えがやってきた。</p> <p>(2)使徒 2:9-11 (弟子-産業者)- 15ヶ国の重要な弟子を隠して神様が会うようにされる。</p> <p>(3)使徒 2:14-21(みことば)-神様のみことばがずっと成就</p> <p>(4)使徒 2:41(3千弟子)-現場にある3千弟子が集まり始める。本当に信じてうつわを準備しなければならぬ。</p> <p>(5)使徒 2:43-47(献金)-財産を心より出しておいた。</p> <p>*結論-弟子(一生-一緒に行く者)</p> <p>▲弟子とは一生一緒に行く者をいう。一生を一緒に行こうとすれば一番重要なのが何か。</p> <p>(1)更新-24時祈り(一番更新がはいり答えだ)</p> <p>(2)待ちなさい(使徒 1:6-7)-キリストの契約を握ったが答えが出てこなければ待ちなさい(聖霊の導き)</p> <p>(3)持続使徒 1:8)-キリストで答えが現れれば持続するようになっていく。(地のはてまで、世の終わりまで)</p> <p>▲これが一生そろえなければならない伝道弟子の結論だ。</p>	<p>70人70人のミッション</p> <p>▲重職者は必ず祈りが成り立たなければならない。それでは70人のアイデンティティーは何か。</p> <p>1.根拠から見つけて味わわなければならない。</p> <p>(1)アブラハム→創世記 12:1-3(カナン)の地、祝福の根源、創世記 22:13-20(イサクに伝達)、創世記 26:10-24(100倍の祝福)、創世記 32:23-32(ヤコブ→イスラエル)、創世記 37:1-11(ヨセフ)</p> <p>(2)奴隷時代-この時に与えられたメッセージだ。</p> <p>①出31:6-18(すべての長老)、②ヨシュア 31-3(すべてのつかさ) ③ヨシュア 6:1-20(すべての指導者、戦える人を前面に出せ) ④ヨシュア 10:10-14(すべての働き人は戦える人を総集合させなさい) ⑤ヨシュア 14:6-15(アナク山地征服)</p> <p>▲この役割を重職者、70人がみなしたのだ。</p> <p>(3)捕虜時代</p> <p>①ハガイ 2:1-9 ②イザヤ 43:18-21 ③エステル 4:14、この事実を伝達してこの役割をするのが重職者で、勳士だ。</p> <p>2.完成された答えを見つけて味わわなければならない。</p> <p>(1)使徒 1:14(答え)-この話を答えを持ったということだ。結論、結果、過程をみな知っている。</p> <p>(2)使徒 2:42(解答)、使徒の教えを受けて-毎日、多くの解答を得るのだ。</p> <p>(3)使徒 6:7、使徒 9:1-43 (答え)-重職者が立ったので、すべてのエルサレムに、すべてのユダ地域-みことば運動が起きた。これを答えという。</p> <p>(4)使徒 19:11、かん難が起きたから死ぬことがあったが、より大きい働きを起した。</p> <p>(5)使徒 12:1-25、事件が起きるからより大きい働きが起きた。神様の時刻表を味わうのだ(教会、RUTC 世界福音化-今が機会だ。)</p> <p>3.必ずすること</p> <p>(1)緊急なこと-教会の中を見れば重要で緊急なことがある。長老と勳士中心に祈りチームを作りなさい。</p> <p>(2)全教会員が恵みを受ける組織を組みなさい(3つの今日)</p> <p>(3)近くにいる人々(答えのチーム)-私が引き受けたパート、地域がある。これを持って答えのチームを作りなさい。</p> <p>▲副教役者もパートに入って、これをしなければならぬ。</p> <p>*結論-自分の限界を超える答え(最高の答え)</p> <p>(1)アイデンティティー-その答えはアイデンティティーを正しく見つけることだ。</p> <p>①存在-アイデンティティーは明確に存在していて ②必ず-このアイデンティティーを握っていれば必ずできるようになっていて③神様の計画-アイデンティティーが神様がくれたのなら神様の計画で当然なるのだ。</p> <p>(2)力静かな深い時間できごと、人(答え)、特別(率先)-24時間限界を超える力を得る方法</p> <p>①神様が私にくださる最も重要な時間-力を持つ静かな深い時間-時間がなければならぬ。②そして、多くのできごと、人を通して、いつでも答えを探しなさい。</p> <p>(3)重職者の前にはこういう多くのできごとの中で特別なことが起こるのに、このとき重職者が信仰で先に立ちなさい(24時-集中祈り)</p> <p>(3)現実-考え(変化)</p> <p>▲メッセージを聞いても結局は現実で、結局、ある考えで帰る。ここで皆さんのアイデンティティーが伝えられたら変化が起きる。</p>	<p>ミッションホーム-ミッションホームのお手伝い</p> <p>*序論</p> <p>▲ミッションホーム、レムナント総局でどんなお手伝いが最も神様が願われるお手伝いなのか探さなければならない。また、重職者が弟子を育てるのに、どのようにするのが神様が最も望まれることかを探さなければならない。まず3つを先に助けるべきだ。</p> <p>1.生活を助けなさい(使徒 9:15)</p> <p>(1)福音の歴史-福音が流れてきた歴史を見るようにさせなければならない。</p> <p>(2)伝道の歴史-伝道はどのように流れてきたが説明すれば良い。</p> <p>(3)祈りの歴史-上の二つの部分が説明されて、祈りの歴史が説明されなければならない。</p> <p>①個人-個人に合う祈りをともに捜し出すのだ。 ②具体的-ともに具体的に答えを捜し出すのだ。祈り内容と方法が具体的でなければならない。 ③状況-実際、この人が持っている私の職業、状況を参考にして、そこに合うように具体的に祈りの実際を教えてあげなければならない。</p> <p>▲参考にしなさいと言って、みことばをどのように受けたか、どのように見ているのか、どのように実践するのかを話してあげれば良い。ここで一番参考しなければならぬことが、集中することができるようにさせてあげなければならない。それで正しく体験するようにさせなければならない。</p> <p>2.専門集中訓練(いやし)</p> <p>▲祈りが成り立ちは、専門集中訓練だ。専門集中訓練は祈りが成り立てばいやしになる。</p> <p>(1)使徒 11:19 集中的に伝道運動に入って(2)使徒 11:21、かん難の中で伝道運動に入って(3)使徒 11:23-26、弟子運動に入って(4)使徒 11:28-30、多くの経済に勝てる集中訓練に入った。</p> <p>3.ミッション(宣教)-後見人</p> <p>▲これになれば、必ずミッション(宣教)を与えなければならない。それになることができる後見人の役割をしてあげなければならない。</p> <p>(1)使徒 13:1-4、自分の一人聖霊の導きを受けて行くように.. ②使徒 16:6-10、何かうまくいかないとき、特別な答えを受けた ③使徒 19:21、特別に強調はしなかったが未来まで見るローマ。</p> <p>▲みさんが少しでもだけ関心を持たずばらしい実が出る。</p> <p>*結論-書簡(1章-終わり)</p> <p>▲神様が最も望まれることは何か。聖書を見ればすべての書簡の1章と最後まで見なさい。ローマ 16:1-27、コロサイ 4:1-18、イコリント 16:14-24、イコリント 1:4-5、IIコリント 1:11、ピリピ 1:3-4、コロサイ 1:1-5 個人 個人の話が出る。本当に方法が自分の答えを受ける部分を簡単に送れば、それを持っても人が生き返る。それでは私たちがすることは何か。レムナントだけでも正しく教えなければならないのではないのか。今は私たちが落ち着いて、入らなければならない。今月のメッセージは絶対握らなければいけない。私は今年、来年とともに重要な時刻表だと見ている。24時答えを受けるみなさんになることを祈る。</p>	<p>専門の働き-人専門性(使徒 8:26-40)</p> <p>▲使徒 8:26-40、エチオピアの宦官とピリポが会うようになる。行政専門性よりは、人専門性を持たなければならない。</p> <p>1.昼夜味わう祝福</p> <p>(1)3つ</p> <p>①講壇(説教)、お知らせ-私に答えて迫ってこなければならない。</p> <p>②個人、献金-できごと、献金が答えてこなければならない。</p> <p>③人、特別な日-全部答えて迫ってこなければならない。</p> <p>(2)役割-この役割をだれかが迫ってあげなければならないかと思えば重職者が一般信徒しなければならぬ。</p> <p>(3)適用-講壇メッセージがどのように私たちに適用されるのか、神様がくださったみことばをどのように正しく適用するかを知らせるのが副教役者がすることだ。</p> <p>2.専門性働きをおいて(言葉)</p> <p>(1)胎児-夫婦が恵みを受けるのが最も重要</p> <p>(2)幼稚、小学生部-家族が恵みを受けなければならない。家族ができることに専門性を持たせてあげなさい。</p> <p>(3)中高-ミッション</p> <p>▲中高生には教会にくる時ごとにミッションを与えなさい。これは先生が与えなければならないのにレムナント大会からつながらるミッションを与えなさい。</p> <p>(4)大学、青年-重職者、宣教師</p> <p>▲今から重職者と長期、短期機能宣教師の準備をさせなければならない。この部分に専門性を持ちなさい。</p> <p>(5)レムナント総局-別途の専門性を持たなければならない。</p> <p>①ミッション-必ずミッションを与えたいのちをにかけて②個人-個人連絡に集中しなければならぬ。③conference-この子どもたちがまたミッションを持ってレムナント大会にくるようになさなければならない(フォーラム)。</p> <p>(6)宣教総局-3つの専門性を持たなければならない。</p> <p>①宣教現地の底状況、個人状況を完全に読んでいなければならない。</p> <p>②ここに訓練やメッセージが伝えられるのだ。</p> <p>③宣教師の子どもをみな把握して、本当に祈りの答えを受けられる後見人の働きができるようにしなければならぬ</p> <p>(7)専門の働き</p> <p>①機能専門性ができる。②連絡-集いでなく連絡をよく与えなければならない。③インターンシップ-そしてここが RUTC と連絡になって、インターンシップ現場にならなければならない。</p> <p>3.唯一性-専門性の終わりは唯一性だ。</p> <p>(1)私を発見(2)私たちを発見(3)未来を発見するのだ。</p> <p>*結論-2種類資料宣教地教会+力</p> <p>▲今、最も安らかに共通にすべきこと。</p> <p>(1)資料宣教地教会を作りなさい。</p> <p>①高級型-高級人材に入れることを活用 ②公共場所、食堂でもいくらでもできる。③私手が届く最も近い現場がある。資料地教会を作ってみなさい。</p> <p>(2)力-すべての現場の中で祈りの力を得なさい。</p> <p>①準備(深い)祈り-朝準備しながら深い祈り②残りは安らかに呼吸しながら、神様と対話祈り、目に見える次第、目祈り、思い出せる次第、考え祈り、全世界を祈りですつと巡回祈り③特別祈り-健康状態も参考にして祈りなさい。</p>
---	--	---	--